

3. 市への提言

(1) 沼津のまちづくりにおいて重視すべき視点

<新しい時代の変化に対応したまちづくり>

我が国全体の人口減少・少子高齢化の流れの中で、沼津市が静岡県東部の拠点都市として持続的に発展・成熟するよう、定住人口の確保と交流人口の拡大を目指したまちづくりを進める。

- ① 静岡県東部の拠点都市としてふさわしい高次都市機能の導入や充実を図り、多様で魅力ある仕事や活動の場の創出を目指す
- ② 生活者としての市民の「顧客満足度」を高める視点を重視し、すべての世代の市民が安全・安心で快適に暮らせる生活環境の整備を進める
- ③ ユニバーサルデザインの徹底など、すべての人が等しく暮らしやすい都市をつくる
- ④ 子育て世代の定住化を図るため、安全で質の高い居住環境の整備とともに、子育てを支援するさまざまな仕組みの充実を図る
- ⑤ 社会的活動に意欲を持つ団塊の世代を中心とする市民について、まちづくり等の社会的活動への積極的な参加を促進する

<沼津の地域資産を活かしたまちづくり>

自然、歴史、産業、伝統文化など多種多様な優れた「地域資産」を沼津の魅力を高めるために積極的に活用する。

- ① 市内に広く分布する「地域資産」について周遊ルートの再整備などにより回遊性を高め、沼津市全体としての魅力を高める
- ② 変化に富んだ豊かな自然環境やそこから生まれる農産物・海産物、良質の飲み水などは、観光資源としてだけではなく新しい都市機能の導入や交流人口の拡大を図る上でも大きな吸引力となることから、対外的な情報発信に努める

＜連携と交流を促すまちづくり＞

鉄道跡地の活用を含む沼津駅周辺のまちづくりにおいては、沼津市全体はもちろん、静岡県東部地域全体を視野に入れて、都市機能の導入・強化や街並み形成のあり方を考える。

- ① 沼津駅周辺地域の広域的な拠点性を高める機能導入やまちづくりを進める
- ② 周辺市町との広域的な交流や連携を促すため、主要幹線道路の体系的な整備に取り組む
- ③ 市民の足となるバス路線再編成やサービス向上などにより、市内外の回遊性を高め、中心部のにぎわいの創出や生活利便性の向上を図る

＜公民協働の持続的なまちづくり＞

沼津の将来像を市民が共有しつつ、公民協働の持続的なまちづくりを着実に進める。

- ① 20 年後、30 年後の沼津のあるべき姿について広く市民の合意形成を図り、長期的視点に立ったまちづくりを進める
- ② 鉄道高架化等の基盤整備と併せ、住民や企業の自主的な取り組みを行政が支援する公民協働のボトムアップ型のまちづくりを進める
- ③ 民間の資金や創意工夫を活かし、質の高い都市空間・居住環境の実現を図る

(2) 沼津の魅力や拠点都市機能を高めるために沼津駅周辺に新たに導入することが望ましい機能

＜先進産業機能＞

周辺市町と効果的に連携・役割分担しつつ、先進医療を始めとする先進的産業に関連した機能の導入を図る。

- ① 先進医療関連施設等の先進産業機能を導入する
 - 先進・先端産業関連の企業等
 - 先進・高度医療関連等の新しい分野に関する教育・研修施設や医科系大学
- ② 先進医療と観光との連携等、沼津の強みを活かした先進産業を誘致する
 - 医療ツーリズム関連施設
- ③ 新産業創出の核となるベンチャー企業を育成・誘致する

＜生活サービス機能＞

沼津駅周辺の交通利便性を活かした健康・医療・福祉等の多様な生活サービス機能の導入を図る。

- 子どもの医療や専門的な疾患に特化した病院等
- 保育所等の子育て支援施設等
- 高齢者福祉施設等

＜行政機能＞

市民の利便性を高める行政サービスの充実とともに拠点都市機能を強化するため、市役所などの行政機能の導入を図る。

- 市役所の窓口機能等
- 市役所、裁判所、警察署等行政機関の建て替え時期に合わせた移転整備
- 地域防災力を高めるためのコンパクトな防災設備の分散整備等

＜健康増進機能＞

健康づくりや疾病予防のために誰もが生涯にわたって気軽にスポーツを楽しめるよう、屋内運動施設等の利用しやすいスポーツ施設の整備を図る。

- 乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層が利用できるスポーツ施設等
- 地域活動が一体的にできる施設を併設したスポーツ施設等
- 小規模なスポーツジム等

(3) 沼津駅周辺の街並み形成のあり方

<水と緑のあふれる都市空間の形成>

水と緑の豊かな環境を行政と地域の住民・企業が協働で創出することにより、快適で潤いのある都市空間の形成を進める。

- 公園・緑地の整備や街路樹の植栽による公共空間の緑化を進める
- 緑化推進団体等との協働により、身近な自然環境の保全と活用を図る
- 住宅や民間施設内における緑豊かな空間づくりを推進する
- 水の豊かな沼津にふさわしい親水施設等の整備を進める

<歩行者空間ネットワークの整備>

ユニバーサルデザインの視点を基本として、安全で快適な歩行者空間を行政と地域が連携して整備し、歩いて楽しい、にぎわいのまちづくりを進める。

- 高齢者や障がい者を始め、すべての人が通行しやすい、広くて平らな歩道を整備する
- 沼津駅周辺や中心商店街等多くの人が集まる場所では、建物敷地内も含めて道路と一体的になった安全・快適な歩行者空間の整備を面的に広げる
- 子育て支援の一環として、小さな子どもが歩きやすいまちづくりを進める
- 歩行者ネットワークの整備と併せ、ところどころにポケットパークや小広場等を設けて、多くの人が街歩きを楽しめるようにする

<美しい街並み景観の形成>

行政と市民の連携・協働により、次世代に継承する美しい都市景観の保全・創出に努める。

- 美しい街路空間の形成を図るため、公民協働で道路に面する建物を含めた景観形成に取り組む
- 安らぎ、潤いという不変の価値観を基本としつつ、地域住民が大切にしている景観を尊重しながら美しい都市景観の保全・創出を図る
- 不法屋外広告看板の撤去活動等を推進する

(4) 鉄道跡地の活用に向けたまちづくりの取り組み方針

<公民協働のまちづくりの推進>

長期的視点を踏まえて持続的なまちづくりを着実に進めるため、住民の自主的な取り組みを基本とした公民協働の取り組みを推進する。

- 地域全体としての環境や価値が長期にわたり整備・保全されるよう、住民・企業等の自主的な「エリアマネジメント」の取り組みを行政が支援する
- まちづくりに関係する部署が情報を共有化できるよう、市役所の組織体制を見直す
- まちづくりリーダーの育成や専門家による支援に努める
- これからの沼津を担う若い世代の意見を集約する
- 地権者等に整備された区画整理の現場を見せるなどのPRに努め、まちづくりへの協力を促す
- 自分たちのまちに愛着を持ってもらうため、子どもたちがまちづくりに関わる仕組みづくりを進める

<沼津駅周辺整備と連携した中心市街地の総合的なまちづくりの推進>

鉄道跡地に希望する施設として過去の市民アンケートではショッピングセンターが最も多かったが、経済・社会環境の変化を踏まえ、沼津の中心市街地においては既存の商店街を活かしながら一つのショッピングセンターのように面的に機能するよう、総合的なまちづくりを進める。

- 商店街ごとのコンセプト構成や空き店舗の活用など、にぎわいある商店街づくりに向けたランドデザインを描く
- 各店舗をショッピングセンターのテナントとみなして、共通のコンセプトでサービスを提供するなど、商店街全体で取り組みを進める
- 商業全般について精通した専門家による支援・指導体制の整備を進める

<交通アクセス整備の推進>

東西都市軸と南北都市軸の交点である沼津駅を広域的交通拠点として機能強化を図るとともに、回遊性の向上を図るため公共交通機関の連携、強化や周辺幹線道路のアクセス改善などを推進する。

- 沼津―三島間のさらなるアクセス向上に向け、鉄道輸送力の増強、利用者のニーズにあった路線バスの運行の促進を図る
- 国道 414 号など主要な幹線道路の整備促進を図る
- 沼津駅周辺を環状的に走るバス路線を新設する
- 交通ネットワーク強化に向け、L R T など新しい公共交通システムについて調査、研究を進める

<情報発信の充実・強化>

交流人口のさらなる拡大を図るため、ハード・ソフト両面の総合的な取り組みにより、沼津駅周辺から県東部地域の魅力に関する情報発信を充実・強化し、にぎわいの創出に努める。

- 西伊豆の玄関口として駅前に観光情報を提供する場を設ける
- ひもの横丁を整備するなど、特産の水産物等を活かした飲食・特産品販売機能の充実を図り、集客力の向上と沼津のブランドイメージの発信・確立に努める
- 静岡県東部地域コンベンションビューローを活用し、国内外のコンベンション（会議・催事など）を積極的に静岡県東部地域に誘致する
- 県東部地域の都市イメージ構築や観光振興などによる地域活性化を図るため、東部コンベンションセンターの利用促進を図る